

香川県の農林水産業の概要

特徴・取組

香川県は四国の北東部に位置し、地形は半月形で、南部には讃岐山脈が連なり、北部には讃岐平野が広がっている。北に臨む瀬戸内海には、小豆島（しょうどしま）をはじめとする大小116余の島々が点在している。

河川は総じて流路延長が短く、水量も乏しい。また、降水量も少ないことから、満濃池（まんのういけ）をはじめとする大小約1万4,600のため池とともに吉野川から水を取り込む香川用水が耕地を潤している。

香川県には建設機械関連、造船関連、自動車部品関連、電気機械関連などの分野で国内のトップクラスの企業が中核的企業として存在しており、それらを中心に高度な基盤技術を持つ協力企業が多数集積している。

また、食料品関連産業の歴史は古く、長期に渡り蓄積された発酵技術や品質・鮮度保持技術等は産学ともにトップレベルとされ、冷凍食品や調味料などの食料品関連の企業が県下一円に多数集積している。

年間日照時間が長く温暖な瀬戸内の恵まれた気候風土の下で、多種多様な農産物を栽培している。また、京阪神市場に近いという条件を活かして、米と野菜・畜産などを組み合わせた複合的な経営や、施設園芸などの集約的な農業経営を行っている。

水産業では、多種多様な地魚を対象とした漁船漁業、県魚「ハマチ」を中心とした魚類やのりなどの養殖業が営まれている。

香川県では、県特産のオリーブの採油後の果実や葉を給与して飼養した「オリーブ牛」、「オリーブ豚・オリーブ豚」、「オリーブ地鶏」、オリーブの葉を餌に添加して養殖した「オリーブハマチ・オリーブマダイ」の生産振興、販売拡大に取り組んでおり、「オリーブ牛」の輸出拡大も図っている。

また、平成24年度から県の認定を受けた生産者が育てたもののうち、品質の高い県産の果物・野菜・花きを「さぬき讃フルーツ」、「さぬき讃ベジタブル」、「さぬき讃フラワー」として推奨する制度を設け、消費と生産の拡大を図っている。

平成29年には「香川小原紅早生みかん（おばらべにわせ）」が令和元年には「善通寺産四角スイカ」が地理的表示（GI）に登録された。

主な農林水産物

オリーブ

栽培は「小豆島」を中心に、県内全域に拡大中。果実は塩蔵用や採油用として利用。香川県の県花、県木。
(収穫量全国1位)



小麦

さぬきうどん用小麦として県が育成した「さぬきの夢2009」は、国産小麦として全国上位の価格で取り引きされている。



にんにく

温暖な気候を活かして、収穫は4月から始まり、生にんにく、乾燥にんにくとして販売。
(収穫量全国2位)



ブロッコリー

昭和40年代に導入され、県内全域で栽培され氷詰めの出荷で鮮度にこだわっている。
(収穫量全国3位)



レタス

四国1位の収穫量を誇り、「らりるれレタス」としてブランド化。全国の収穫量の約3%を占める。
(収穫量全国8位)



アスパラガス

アスパラガスの導入は昭和45年。県育成品種「さぬきのめざめ」などにより産地活性化を図っている。



温州みかん

県オリジナル品種で果皮が紅色の「小原紅早生（おばらべにわせ）」や「袋掛けみかん」などによりブランド化を進めている。



鶏卵

香川県は四国の鶏卵の約6割を生産。全国の生産量の約3%を占め、農業産出額は県内の16%を占める。



養殖ハマチ

香川県は世界で初めてハマチ養殖に成功。オリーブ葉を添加した餌料で育てたオリーブハマチもある。



盆栽

主に高松市で栽培されており、松盆栽が主力。輸出にも力を入れている。



香川県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜産物】小麦、ブロッコリー、レタス、アスパラガス、いちご、なばな（花）、オリーブ、みかん、ぶどう、もも、びわ、キウイフルーツ、きく（切花）、鶏卵、ブロイラー、乳用牛、肉用牛、豚

【林産物】エリンギ

【水産物】たい類、かれい類、さわら、えび類

東讃(とうさん)地域

【農産物】パセリ、カーネーション（切花）、盆栽

【水産物】いかなご、たこ類、ぶり類養殖、かき類養殖、のり類養殖

中讃(ちゅうさん)地域

【農産物】はだか麦、レタス、にんにく、だいこん、にんじん（金時にんじん）、かんしょ、カーネーション（切花）

【林産物】たけのこ

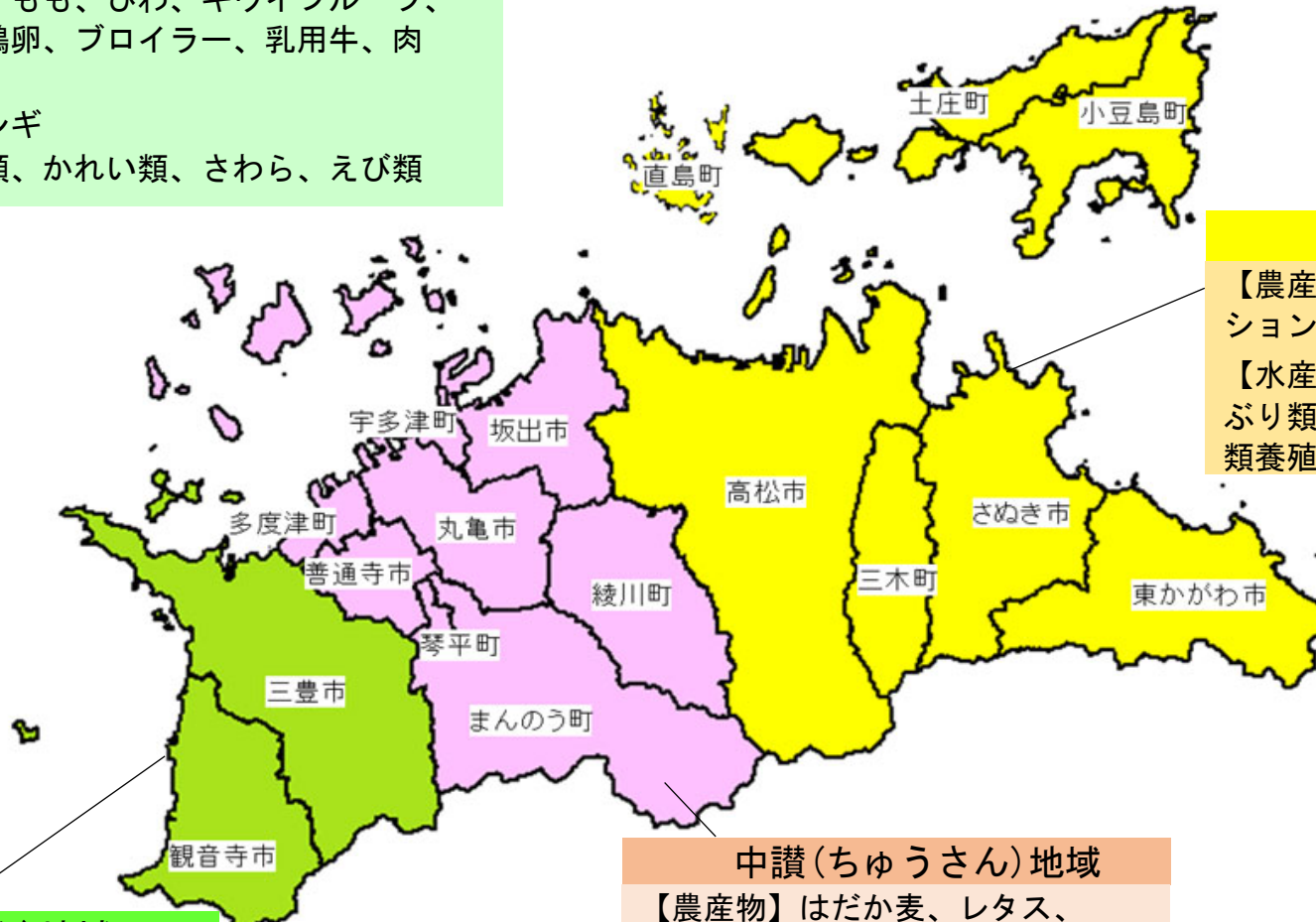
【水産物】たこ類

西讃(せいさん)地域

【農産物】レタス、ねぎ、たまねぎ、にんにく、マーガレット（切花）

【林産物】たけのこ

【水産物】かたくちいわし



香 川 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は2万9,300haで、うち83%が田。
- ・総農家数は2万9,222戸で、うち販売農家は1万5,942戸。
- ・基幹的農業従事者数に対する65歳以上の割合は81.7%。

耕地面積

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
耕地面積	29,300 ha	4,349,000 ha	40
田	24,400 ha	2,366,000 ha	33
畑	4,860 ha	1,983,000 ha	43
普通畑	2,160 ha	1,126,000 ha	45
樹園地	2,690 ha	263,200 ha	31
牧草地	19 ha	593,400 ha	45
参考) 総土地面積	187,692 ha	37,797,463 ha	47

出典:「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	7,488 ha	281,831 ha	14

出典:「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	8,705 ha	2,535,115 ha	40
集積率	29.3 %	58.0 %	34

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
農業経営体数	16,459 経営体	1,075,705 経営体	30
法人経営体	392 経営体	30,707 経営体	35
総農家数	29,222 戸	1,747,079 戸	28
販売農家	15,942 戸	1,027,892 戸	30
参考) 世帯総数	406,985 世帯	55,830,154 世帯	36
集落営農数	237 集落営農	14,490 集落営農	25

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	18,190 人	1,363,038 人	34
男	11,308 人	822,144 人	31
女	6,882 人	540,894 人	34
65歳以上	14,867 人	948,621 人	31
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	81.7 %	69.6 %	-
認定農業者数	1,729 経営体	233,806 経営体	36
法人数	343 法人	26,080 法人	35
参考) 総人口数	950,244 人	126,146,099 人	39

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

香 川 県 の 農 業 (2)

- ・ 農業産出額は808億円で全国第35位。内訳は、野菜が242億円、鶏卵が129億円、米が121億円。
- ・ 農畜産物の生産状況は、オリーブが全国第1位、はだか麦及びにんにくが2位、ブロッコリー及びなばな（花）が3位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産加工の年間販売金額が204億4,300万円为全国第18位。

農業産出額

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
農業産出額	808 億円	89,557 億円	35
米	121 億円	16,551 億円	38
麦類	3 億円	521 億円	17 *
雑穀	0 億円	77 億円	41
豆類	0 億円	712 億円	42
いも類	9 億円	2,391 億円	30
野菜	242 億円	22,520 億円	31
果実	69 億円	8,741 億円	30
花き	27 億円	3,080 億円	34
工芸農作物	5 億円	1,553 億円	24
その他作物	11 億円	697 億円	15 *
畜産	320 億円	32,279 億円	28
肉用牛	48 億円	6,863 億円	32
乳用牛	52 億円	9,310 億円	28
生乳	44 億円	7,798 億円	28
豚	26 億円	6,596 億円	33
鶏	194 億円	8,724 億円	17
鶏卵	129 億円	4,577 億円	15
ブロイラー	44 億円	3,621 億円	17 *
その他畜産物	1 億円	787 億円	37
加工農産物	0 億円	436 億円	46

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	香 川 県	全 国	全国順位	
オリーブ	収穫量	元	540 t	620 t	1
はだか麦	収穫量	R3	2,900 t	21,800 t	2 *
にんにく	収穫量	R2	844 t	21,200 t	2
ブロッコリー	収穫量	R2	15,700 t	174,500 t	3
なばな（花）	収穫量	H30	588 t	4,343 t	3 *
びわ	収穫量	R2	216 t	2,650 t	4 *
パセリ	収穫量	H30	156 t	2,586 t	5 *
非結球レタス	収穫量	H30	2,121 t	67,362 t	5 *
セルリー	収穫量	R2	1,010 t	29,500 t	5
レタス	収穫量	R2	16,500 t	563,900 t	8
オクラ	収穫量	H30	255 t	11,665 t	7 *
キウイフルーツ	収穫量	R2	571 t	22,500 t	10 *

出典：「特産果樹生産動態等調査」、「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「地域特産野菜生産状況調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	20,443 百万円	946,841 百万円	18
	事業体数	270 事業体	32,400 事業体	42
農産物直売所	総額	11,224 百万円	1,053,366 百万円	42
	事業体数	130 事業体	23,650 事業体	45
観光農園	総額	78 百万円	35,943 百万円	46
	経営体数	10 経営体	5,290 経営体	47

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

香 川 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は46.5億円で全国第28位。内訳は、栽培きのこ類生産が97%。
- ・ 林産物の生産状況は、エリンギが全国第4位、たけのこが5位。
- ・ 製材工場数は26工場で全国第43位。

林野面積

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
林野面積	87,183 ha	24,770,201 ha	45
国有林	8,005 ha	7,153,338 ha	42
民有林	79,178 ha	17,616,863 ha	45
人工林面積	23,181 ha	10,203,842 ha	46

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
林業経営体数	88 経営体	34,001 経営体	46
法人経営体	11 経営体	4,093 経営体	46

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
林業産出額	46.5 億円	4,286.4 億円	28
木材生産	0.8 億円	1,943.7 億円	45
栽培きのこ類生産	45.2 億円	2,259.6 億円	10

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
素材生産量	8 千m ³	19,882 千m ³	46
針葉樹	8 千m ³	18,037 千m ³	46
ひのき	5 千m ³	2,722 千m ³	33
エリンギ	生産量 1,482 t	38,500 t	4 *
たけのこ	生産量 989 t	26,449 t	5
竹材	生産量 5 千束	1,030 千束	12

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
工場数	26 工場	4,115 工場	43
製材用素材の入荷があった工場数	26 工場	4,067 工場	43
国産材のみ	6 工場	3,237 工場	46
国産材と輸入材	10 工場	653 工場	29

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

香 川 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は198億円で全国第24位。
- ・水産物の生産状況は、いかなごが全国第2位、のり類が6位、かたくちいわしが7位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産加工の年間販売金額が43億6,700万円で全国第10位。

漁船隻数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
漁船隻数	2,587 隻	132,201 隻	20
動力漁船	1,675 隻	69,920 隻	17

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,234 経営体	79,067 経営体	26
内水面漁業経営体数	28 経営体	4,772 経営体	35

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,913 人	151,701 人	27
男	1,738 人	134,186 人	28
女	175 人	17,515 人	21

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	198 億円	13,484 億円	24

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	香 川 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	35,018 t	4,182,983 t	25 *
海面漁業漁獲量	12,113 t	3,213,334 t	32
いかなご	606 t	6,373 t	2
かたくちいわし	5,607 t	143,857 t	7 *
海面養殖業収穫量	22,905 t	969,649 t	15 *
のり類	13,989 t	289,396 t	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	9 t	50,832 t	41 *
内水面養殖業収穫量	9 t	29,087 t	41 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	香 川 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	4,367 百万円	175,132 百万円	10
	事業体数	30 事業体	1,500 事業体	16
水産物直売所	総額	167 百万円	36,489 百万円	27 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体	18 *
漁家レストラン	総額	109 百万円	11,822 百万円	21 *
	事業体数	10 事業体	420 事業体	11 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

香川県の農林水産業の話題等

担い手の確保・育成

香川県では、新規就農者や認定農業者をはじめ、兼業農家や半農半X、農外企業なども担い手として幅広く捉え、県内外から意欲ある多様な人材を呼び込むため、香川県農業の魅力や県の支援策などの情報発信やオンライン就農相談、移住就農ツアー等での先進的な農業経営体との交流・体験の機会充実に積極的に取り組んでいる。

また、多様な人材で組織するグループが農作業等を受託する新たな仕組みである「農業支援グループ」の組織化や定年帰農者など多様な人材を含めた地域の後継者育成、高齢化する集落営農の世代交代・経営継承を支援している。

水産業では、漁業就業者確保育成センターによる情報提供や、新たな漁業就業を支援する「かがわ漁業塾」の取組などにより、関係団体と連携し漁業就業者の確保・育成に努めている。



就農ツアー

消費者ニーズに即した魅力ある農畜水産物の生産・流通・販売

水稻の「おいでまい」、いちごの「さぬきひめ」、アスパラガスの「さぬきのめざめ」、「オリーブ牛」、「オリーブハマチ」など、消費者ニーズを意識したマーケットインの発想による、県オリジナルの高品質な農畜水産物の生産は拡大傾向にあり、「オリーブ豚・オリーブ豚」に続いて「オリーブ地鶏」も開発された。

また、レタス、ネギ、たまねぎなど本県の基幹野菜の生産も一定規模を維持しており、ブロッコリーについては、近年、大幅に生産が拡大している。



農業支援グループ



高設式養液栽培
「さぬきひめ」



県オリジナル品種
「さぬきのめざめ」



「第11回全国和牛能力共進会」で
「脂肪の質・日本一」のオリーブ牛